

『新横須賀市史』及び市史編さん事業関連刊行物のご案内

横須賀市立中央図書館郷土資料室

1 『新横須賀市史』

通史編 ❖ 自然・原始・古代・中世 第 11 回配本	
三浦半島の地質や動植物などの自然と、ヒトが住み始めた旧石器時代から天正 18 年（1590 年）の徳川家康関東入部までの三浦半島あるいは三浦郡域の歴史、特に三浦一族の幅広い活躍を掲載	平成 24 年 5 月 31 日発行 A 5 判カラー・上製本・974 頁・ 4,000 円
通史編 ❖ 近世 第 9 回配本	
三浦按針・向井将監の活躍から浦賀奉行所創設、ペリー来航、そして横須賀製鉄所建設まで、移りゆく江戸時代の横須賀の姿を掲載	平成 23 年 6 月 30 日発行 A 5 判カラー・上製本・794 頁・ 4,000 円
通史編 ❖ 近現代 第 14 回配本	
明治維新後、第一軍港都市として発展した横須賀の様相、その後の敗戦と占領を経て高度経済成長期にいたる頃までの横須賀の歩みを掲載	平成 26 年 8 月 31 日発行 A 5 判カラー・上製本・1,131 頁・ 4,000 円
資料編 ❖ 古代・中世 I 第 1 回配本	
『古事記』『日本書紀』の時代から鎌倉幕府滅亡までを対象に約 1,500 点の史料を編年体で収録	平成 16 年 3 月 31 日発行 A 5 判・上製本・1,213 頁・4,000 円
資料編 ❖ 古代・中世 II 第 4 回配本	
鎌倉幕府滅亡後から小田原北条氏滅亡までの史料と、戦国時代に三浦郡を領した北条氏規の関係史料を編年体で 1,286 点収録／三浦一族の系図 10 種掲載	平成 19 年 8 月 31 日発行 A 5 判・上製本・1,136 頁・4,000 円
資料編 ❖ 古代・中世 補遺	
資料編 古代・中世 1・2 に掲載できなかった三浦一族と旧三浦郡域に関する史料及び小田原北条氏滅亡以後から元和年間までの近世初頭の史料約 500 点を収録／『新編相模国風土記稿』の三浦郡の全文を翻刻で収録	平成 23 年 3 月 31 日発行 A 5 判・並製本・599 頁・1,500 円
資料編 ❖ 近世 I 第 5 回配本	
江戸時代の生活や産業、海防などに関する未紹介史料を中心に収録／近世の横須賀を学ぶ上で鍵となるテーマを五つ（三浦按針・浦賀奉行所・浦賀港の流通・三浦半島の海防・横須賀製鉄所）取り上げて解説	平成 19 年 8 月 31 日発行 A 5 判・上製本・1,159 頁・4,000 円
資料編 ❖ 近世 II 第 2 回配本	
江戸時代の浦賀に焦点を当て、関係史料の中から『浦賀史料』全 10 冊（慶応義塾大学三田メディアセンター所蔵）を全て翻刻し、冊ごとに収録	平成 17 年 3 月 31 日発行 A 5 判・上製本・1,116 頁・4,000 円
資料編 ❖ 近現代 I 第 3 回配本	
明治時代（明治 40 年 2 月 15 日の市制施行以前）を対象に現在の横須賀市域の動向がわかる資料約 700 点を精選し、政治と行政、農漁業と商業、近代産業、軍事、教育、社会など七つの章に分け、解説をつけて収録	平成 18 年 3 月 31 日発行 A 5 判・上製本・1,088 頁・4,000 円
資料編 ❖ 近現代 II 第 6 回配本	
明治末期（市制施行以後）から昭和初期の行政資料や日記・新聞記事など、時代をあらわす資料約 800 点を、政治と行政、産業、軍事、教育、社会など七つの章に分け、解説をつけて収録	平成 21 年 3 月 31 日発行 A 5 判・上製本・1,066 頁・4,000 円
資料編 ❖ 近現代 III 第 10 回配本	
昭和初期（満州事変頃）から終戦を経て戦後の復興が本格化する昭和 30 年代初頭にかけての資料約 830 点を、八つの章に分け、解説をつけて収録	平成 23 年 7 月 31 日発行 A 5 判・上製本・1,268 頁・4,000 円
別編 ❖ 文化遺産 第 7 回配本	
横須賀市内に残された文化遺産を七つの分野（近代化遺産・近代建築・近世建築・彫刻・絵画・金工・石造物）に分けて、図版を多用して解説	平成 21 年 6 月 30 日発行 B 5 判・上製本・1,079 頁・4,000 円
別編 ❖ 考古 第 8 回配本	
横須賀市内に 500 か所以上ある遺跡の中から、旧石器・縄文・弥生・古墳・古代・中世・近世・近代の各時代の重要な 109 遺跡を解説	平成 22 年 3 月 31 日発行 B 5 判・上製本・1,136 頁・4,000 円
別編 ❖ 軍事（完売） 第 12 回配本	
横須賀製鉄所・造船所から横須賀鎮守府・横須賀海軍工廠を始め、戦後の自衛隊や米海軍の組織や施設、人物、建造艦などについて写真や図、表を多用して解説／戦前から戦後にかけての「横須賀の今昔」などをテーマにした写真集を 4 か所に挿入	平成 24 年 12 月 31 日発行 B 5 判・上製本・915 頁・4,000 円

別編 ❖ 民俗		第 13 回配本
市民の身近な暮らしや行事の様子について聞き取り調査をもとに、ハマ・オカ・マチ・都市の四つの民俗空間に分類して解説／執筆による横須賀らしさを追及した座談会を掲載	平成 25 年 6 月 30 日発行 B5判・上製本・859 頁・4,000 円	
別編 ❖ 年表		第 15 回配本
通史編や資料編で取り上げた事象を含む旧石器時代から現代（平成 25 年度）までの歴史年表	平成 27 年 3 月 31 日発行 B5判・上製本・495 頁・3,000 円	

2 『市史研究横須賀』

創刊号		
座談会「市史編さんをめぐって」／論文「鎌倉幕府と馬～三浦氏とのかかわりを中心に～」、「外国人遊参所と横須賀」／研究ノート「戦前期の横須賀市長と市政」ほか 1 件／史料紹介「新出の北条家虎朱印状について」ほか	平成 16 年 2 月 29 日発行 A5判・並製本・138 頁・500 円	
第 2 号		
論文「『吾妻鑑』にみえる騎射芸」、「浦賀奉行所における西洋砲術導入問題」／研究ノート「浦賀引揚と田川日記」／里美義康制札と浦賀商人に関する史料紹介 2 件／市民が語る横須賀ストーリー 1 件／海外資料調査報告 1 件ほか	平成 16 年 2 月 29 日発行 A5判・並製本・132 頁・500 円	
第 3 号		
論文「天文後期における北条氏の房総侵攻」、「大明寺の寺史と彫刻」、「米英連合国の上陸と横須賀」／史料紹介「山内家文書の概要について」／市民が語る横須賀ストーリー 1 件／海外資料調査報告・近代化遺産調査報告ほか	平成 16 年 2 月 29 日発行 A5判・並製本・142 頁・500 円	
第 4 号		
調査報告「旧浦賀船渠株式会社・社宅調査について」、「かろうと山古墳の発掘調査」／研究ノート「日露戦争後の『満州利源調査』と浦賀ほか 1 件／史料紹介 2 件／市民が語る横須賀ストーリー 1 件／寄稿「お龍と横須賀」ほか	平成 17 年 3 月 31 日発行 A5判・並製本・144 頁・500 円	
第 5 号		
研究ノート「塩坂遺跡出土の縄文土器・石器・石製品」、「無量寺聖観音菩薩とその周辺」、「本市域の南北朝・室町期の武蔵型板碑」、「浦賀奉行土方出雲守勝敬（雲山）について」／市民が語る横須賀ストーリー 1 件ほか	平成 18 年 3 月 31 日発行 A5判・並製本・142 頁・500 円	
第 6 号		
史料紹介「幕末フランス人村に滞在した宣教師の記録」／研究ノート「終戦直後の横須賀市の住宅地転用と市営住宅」、三浦半島における弥生時代集落モデル「明治期の浦賀渡船と町共同体」／調査報告「イギリス資料調査」ほか 1 件／市民が語る横須賀ストーリー 1 件ほか	平成 19 年 3 月 31 日発行 A5判・並製本・163 頁・500 円	
第 7 号		
論文「相州三浦郡の継立人馬役・水主役と日光社参人馬役」／調査報告「東京湾要塞観音崎砲台跡の現存遺構について」、「蛭畑遺跡の発掘調査」、「聖徳寺所在の宝篋印塔陽刻板碑について」／市民が語る横須賀ストーリー 2 件ほか	平成 20 年 3 月 31 日発行 A5判・並製本・173 頁・500 円	
第 8 号		
研究ノート「横須賀の漆喰彫刻」、「三浦光村に関する基礎的考察」／史料紹介「浦賀の米穀問屋美川商店の取引先」、「相州詰彦根藩医の手控え」／市民が語る横須賀ストーリー ほか	平成 21 年 3 月 31 日発行 A5判・並製本・120 頁・500 円	
第 9 号		
調査報告「長沢にみるハマとオカの暮らし」、「下町の洋装店にみる戦後の横須賀女性ファッション史」／論文「天保社参をめぐる地域の様相」／研究ノート「横須賀市民の戦前戦後」、「横須賀製鉄所創始期における機械類購入の経緯」ほか	平成 22 年 3 月 31 日発行 A5判・並製本・153 頁・500 円	
第 10 号		
論文「横須賀造船所初期の技術官制度」、「個人の祝い研究試論」／調査報告「大津古墳群の調査 1」／史料紹介「ヴェルニー関連仏文史料について」／市民が語る横須賀ストーリー 1 件ほか	平成 23 年 3 月 31 日発行 A5判・並製本・135 頁・500 円	
第 11 号		
研究ノート「軍港都市の旅館文化」、「戦後自治体の海外都市提携とアメリカ」、「旧横須賀製鉄所副首長官舎（通称ティボディエ邸）の海軍における使用の変遷について」、「横須賀における中心市街地の特質とその変容」／調査報告「大津古墳群の調査 2」／市民が語る横須賀ストーリー 1 件ほか	平成 24 年 3 月 31 日発行 A5判・並製本・152 頁・500 円	

第 12 号	
研究ノート「長野正義と高度経済成長期の横須賀市政」、「横須賀で誕生した日本最初の冠婚相愛互助会」、「三浦七阿弥陀について」／調査報告「大津古墳群の調査3」／市民が語る横須賀ストーリー1件ほか	平成 25 年 3 月 31 日発行 A 5 判・並製本・139 頁・500 円
第 13 号	
論文「米英海軍による空襲と横須賀」／研究ノート「海軍の竣工報告史料から読み解く施設の変遷(1)」、「横須賀製鉄所の南側高台三棟について」／史料紹介「西浦賀の旧問屋・加藤家の所蔵史料について」ほか	平成 26 年 3 月 31 日発行 A 5 判・並製本・116 頁・500 円
第 14 号	
論文「近世後期浦賀の貯夫食金運用と危機対応」／研究ノート「横須賀とキリスト教」／資料紹介 1 件／随想 7 件ほか	平成 27 年 3 月 31 日発行 A 5 判・並製本・135 頁・500 円
第 15 号 特集：戦後七〇年	
市民等の手記 26 件、市民が語る横須賀ストーリー3 件／論文「軍港都市の中の陸軍」ほか	平成 28 年 3 月 31 日発行 A 5 判・並製本・161 頁・500 円
第 16 号 特集：戦後七〇年、学童疎開	
特集「学童疎開」として、諏訪、鶴久保、大津、田戸、坂本の各国民学校別ミニ座談会 5 件／戦後 70 年 手記 8 件／史料紹介 1 件ほか	平成 30 年 3 月 20 日発行 A 5 判・並製本・149 頁・500 円
第 17 号 特集：学童疎開（2）	
特集「学童疎開」として、汐入、船越、田浦、豊島、逸見の各国民学校別ミニ座談会 5 件／市民が語る横須賀ストーリー1 件ほか	平成 30 年 3 月 30 日発行 A 5 判・並製本・130 頁・500 円

3 『横須賀市史資料所在目録』

第 1 集	
横須賀市南部にあたる旧須軽谷村の名主家に伝わる「鈴木家文書」の目録	平成 16 年 3 月 31 日発行 A 4 判・並製本・109 頁・非売品
第 2 集	
田戸の赤門で知られる旧公郷村名主家に伝わってきた「永嶋家文書」の目録。市指定重要文化財の後北条家文書を含む戦国時代から昭和初期に至るまでの文書群で、総点数は約 2,000 点に及ぶ（横須賀市自然・人文博物館所蔵）	平成 18 年 3 月 31 日発行 A 4 判・並製本・138 頁・非売品
第 3 集	
旧浦賀村名主家に伝わってきた「石井三郎兵衛家文書」と旧公郷村名主「永嶋家」に関わる状（一紙）形式の文書を主体とする「旧公郷村一紙文書」の目録（横須賀市立中央図書館所蔵）	平成 20 年 3 月 31 日発行 A 4 判・並製本・143 頁・非売品
第 4 集 一若命寿男家文書（旧秋谷村）一	
相模湾に面した旧秋谷村の名主家に伝わる戦国時代から昭和期にかけての文書の目録で、総点数は約 4,000 点に及ぶ	平成 21 年 3 月 31 日発行 A 4 判・並製本・263 頁・非売品
第 5 集 一旧山内家文書（横須賀市自然・人文博物館蔵）一	
旧浦賀村商家の宮井家に関する文書を中心とし、故山内秋郎氏が収集した文書の目録（横須賀市自然・人文博物館所蔵）	平成 22 年 3 月 31 日発行 A 4 判・並製本・231 頁・非売品
第 6 集 一橋本憲和家文書（旧東浦賀村）一	
「湯浅家」の屋号をもつ旧東浦賀村商家に伝わる「橋本家文書」の目録で、干鰯問屋の経営関係資料を軸とする	平成 24 年 3 月 31 日発行 A 4 判・並製本・169 頁・非売品
第 7 集 一犬塚昭生家／島崎一家／五本木良夫家／鈴木理一家／福本浩家一	
旧衣笠村「犬塚家文書」、旧大矢部村「島崎家文書」、旧佐原村「五本木家文書」、旧長井村「鈴木家文書」、旧佐島村「福本家文書」の各名主家に伝わる文書の目録	平成 25 年 3 月 31 日発行 A 4 判・並製本・94 頁・非売品

4 写真集

占領下の横須賀 一連合軍の上陸とその時代一 （完売）	
米海軍が撮影した写真（米国立公文書館所蔵等）を中心に終戦そして占領下の横須賀の様子を紹介	平成 17 年 3 月 31 日発行 A 4 判・並製本・102 頁・1,000 円

購入場所は、

- 横須賀市役所 本庁舎 1 階 市政情報コーナー（横須賀市小川町 11 番地、京浜急行「横須賀中央」駅から徒歩 7 分）

郵送をご希望の場合は、

- 事前に市政情報コーナーにお問い合わせください（電話：046-822-8186）